

FREMO

キッチンパネル収納
【 フリモ 】

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



テープ禁止

粘着テープ（セロハンテープ・シール等）を化粧面に貼らないでください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

目次

製品図面・パーツセット明細	1～2
施工前の確認事項	3～4
躯体準備	4
施工手順	5～12
設置位置イメージ	13～14

【 オーダーメイドスライドドア グッドア 】の施工について

収納扉は[グッドア]となります。

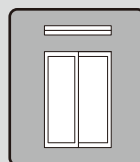
施工の際は[グッドア]上下レール同梱の施工説明書をご覧ください。

※グッドアは **引違戸** 仕様になります。

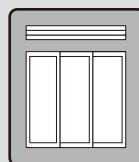
引違戸 2枚、3枚、4枚を参考に施工を行なってください。

取り付け位置は別添の製品詳細図をご確認ください。

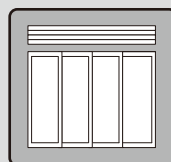
引違戸



2 枚



3 枚



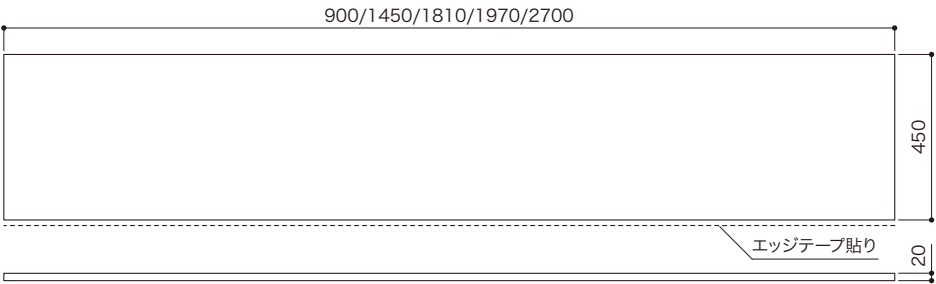
4 枚

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

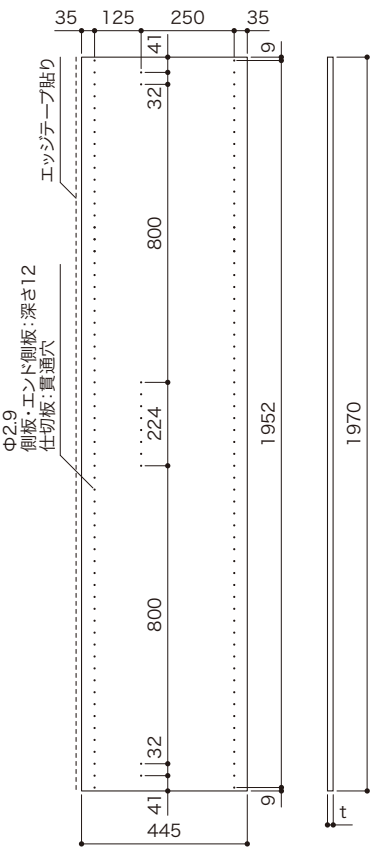
ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

天板

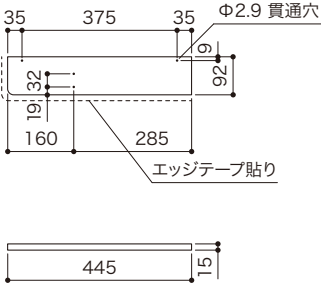


部品	施工・取扱説明書
	各1式

側板・仕切板・エンド側板



ショート側板

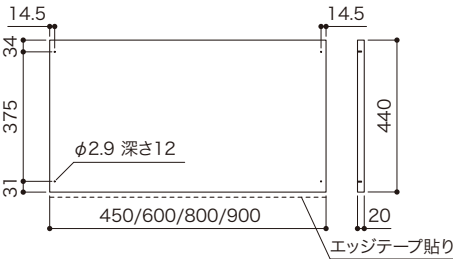


部品	パーツ	樹脂金具	バインドビスL=16	バインドビスL=50	サラビスL=51	ビスキャップセット	エッジテープ
						ビスキャップ ワッシャー	(天板用)
	ショート側板	2個	4本	—	2本	2セット	—
	側板	3個	6本	2本	6本	6セット	—
	エンド側板	5個	10本	2本	—	—	1枚
	仕切板	5個	10本	2本	—	—	—

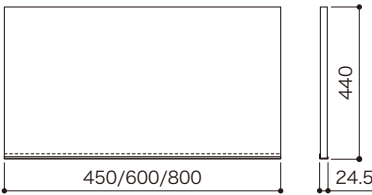
側板 t=15
仕切板/エンド側板 t=20

プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

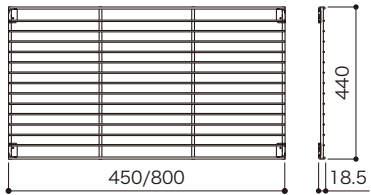
棚板(固定・可動兼用)



耐熱・耐汚棚(可動・固定兼用)



網棚(可動・固定兼用)



部品	パーツ	樹脂金具	バインドビスL=16	バインドネジL=10	可動棚受(前)	可動棚受(後)
	棚板	4個	8本	—	左右各1個	2個
	耐熱・耐汚棚	4個	8本	—	左右各1個	2個
	網棚	4個	4本	4本	左右各1個	2個

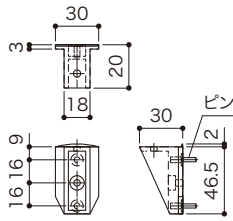
製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

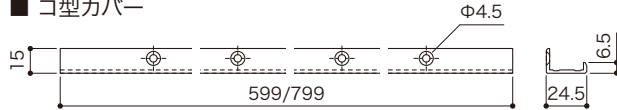
プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

重量用棚受セット

■ 重量用棚受

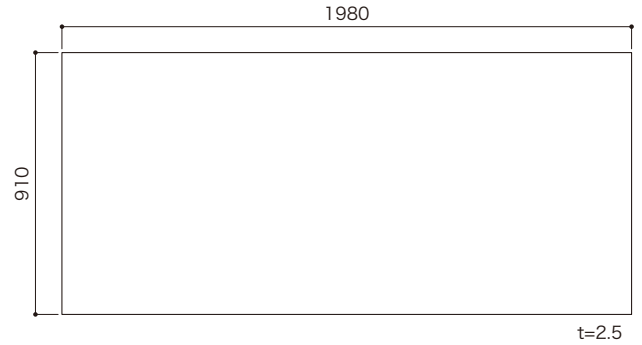


■ コ型カバー

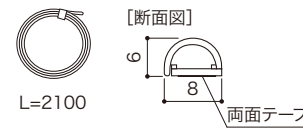


部品	重量用棚受	バインドビスL=16	コ型カバー	サラビスL=16
	4個	8本	1本	4本

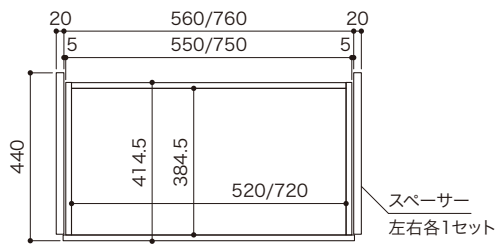
背板パネル



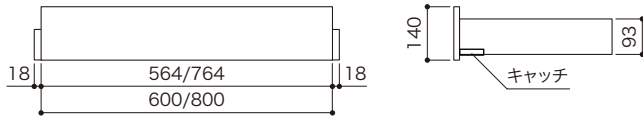
隙間かくし材



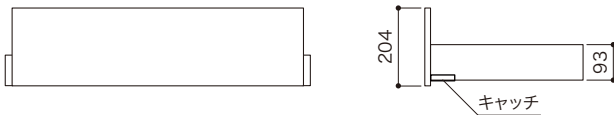
キッチン収納用引出し



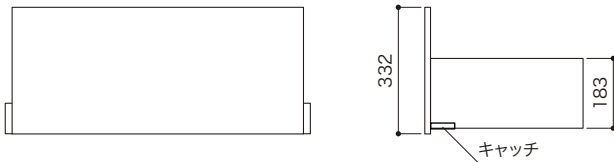
■ H=140



■ H=204

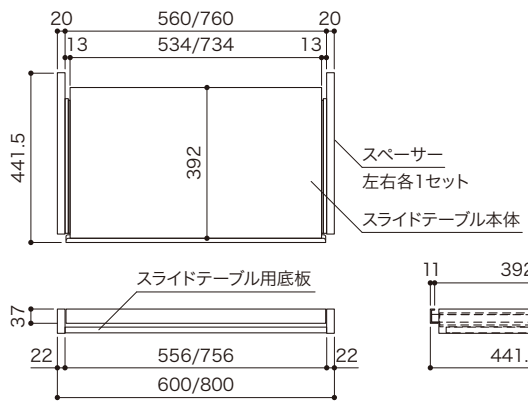


■ H=332



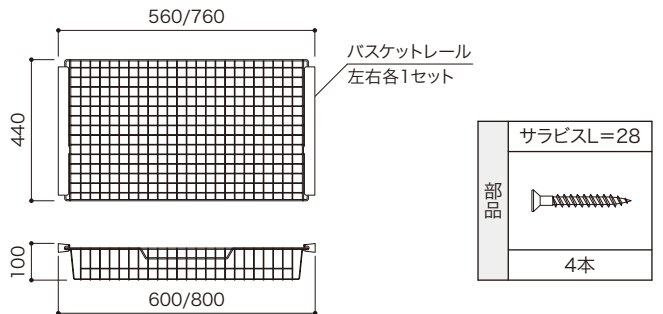
部品	引出し種類	システムビスL=13.5	サラビスL=30
	H=140・204・332	4本	8本

スライドテーブル

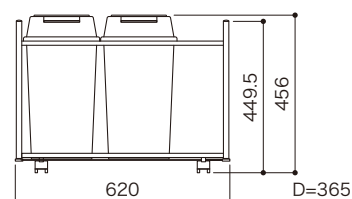


部品	スライドレール	システムビスL=13.5	ジョイント金具シャフト	コ型カバー	サラビスL=16
	左右各1セット	8本	4本	1本	4本

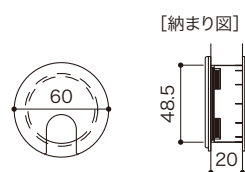
バスケット



ダストワゴンセット



配線孔キャップ



施工前の確認事項

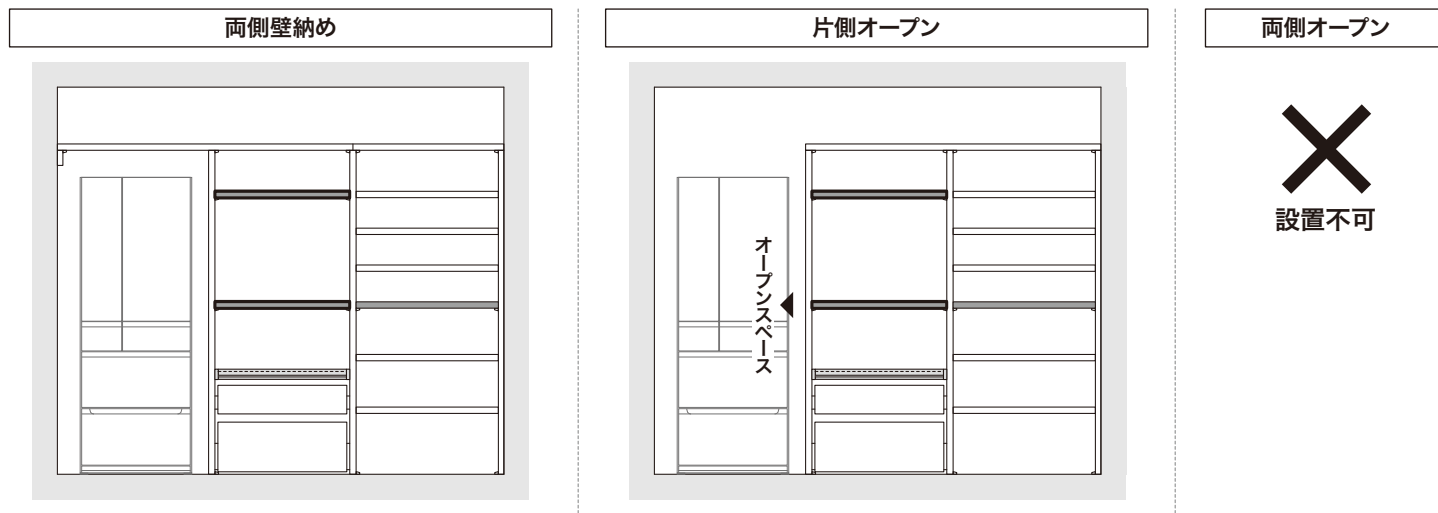
寸法単位:mm

【設置条件について】

■:各棚板(固定) / ■:棚板(固定)+コ型カバーまたは耐熱・耐汚棚 / □:各棚板(可動)

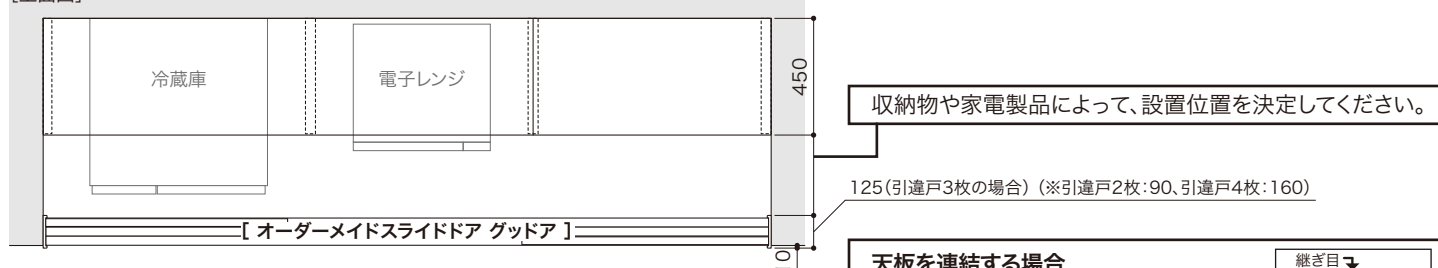
設置方法には **両側壁納め**・**片側オープン** の2パターンがあります。

プランによって、施工方法・条件が異なりますので、施工前に必ず、以下の説明をお読みください。

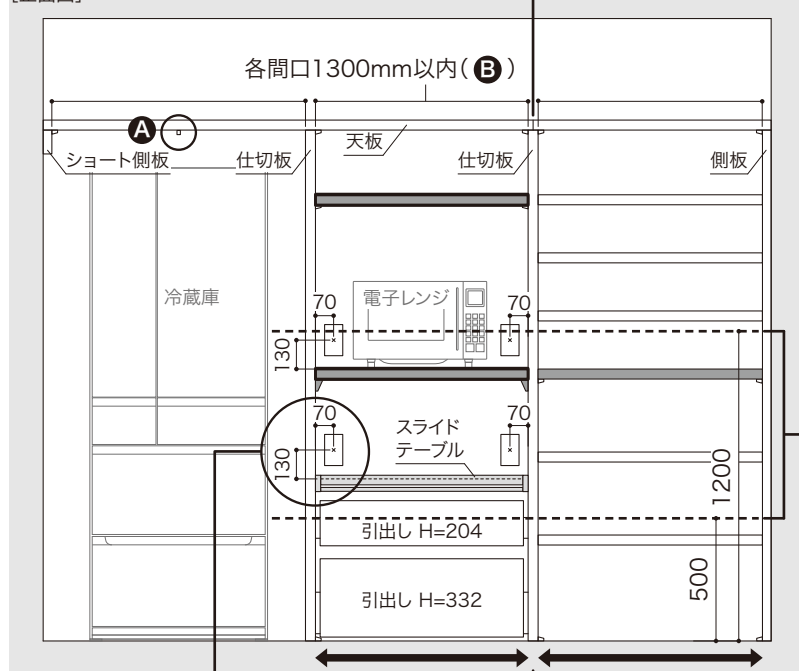


部材設置イメージ図

【上面図】

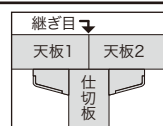


【正面図】



天板を連結する場合

天板継ぎ目部分の下部を必ず仕切板で連結し、同梱の樹脂金具で天板と仕切板を固定してください。



各側板・仕切板について

各側板 側板・ショート側板・エンド側板の3種類があります。
側板・ショート側板:壁面へ取り付け
エンド側板:オープン側へ取り付け

施工前に **製品図面 P1** を参照し、それぞれの用途に応じた施工を行なってください。

- 1列の間口が1000mmを超える場合は天板下面と壁面を樹脂金具で固定してください。(左図 **A**)
- 1列の間口は1300mm以内で設計してください。1300mmを超える場合は、仕切板を追加で設置してください。(左図 **B**)

各棚板を設置する場合

- 1列につき必ず1カ所各棚板を固定してください。各棚板(可動)のみの構成は不可です。高さについては左図を参照してください。(冷蔵庫を設置する場合は除く)
- 設置高は床から各棚板上面まで500~1200mmの間です。お守りいただけない場合、全体の寸法精度および強度が保てない可能性があります。
- バスケットや引出しを取り付ける場合は、それぞれのパーツの上部に必ず各棚板(固定)またはスライドテーブルが必要です。

各棚板について

各棚板 棚板/耐熱・耐汚棚/網棚の3種類があります。

背板パネルを設置する場合

1列の間口が885mm以上の場合背板パネルの取り付けはできません。※背板パネルの木口が見える場合は隙間かくし材で納めます。

コンセント位置について

図を参考に電源線を配線してください。

ご注意

コンセントの取り付け・結線は必ず電気工事士が行なってください。

間口カットについて

網棚、バスケット、引出し、スライドテーブルを設置する列は間口カットができません。

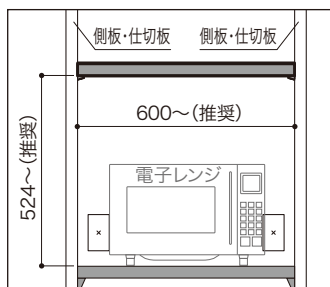
施工前の確認事項

寸法単位:mm

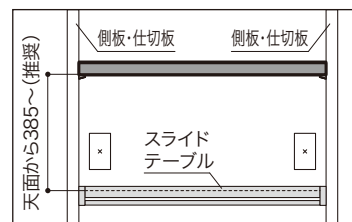
■:各棚板(固定) / ■:棚板(固定)+コ型カバーまたは耐熱・耐汚棚 / □:各棚板(可動)

家電製品を設置する場合

電子レンジを設置する場合:
1列の間口は600mm以上、
電子レンジを設置する棚板※から上側の棚板※まで524mm以上、間隔をあけてください。
(推奨)



その他の家電製品を設置する場合:
スライドテーブル天面から上側の棚板※まで385mm以上間隔をあけてください。(推奨)



※棚板:棚板、耐熱・耐汚棚のいずれかを設置してください。

配線孔キャップを設置する場合:

取り付けるパーツ(仕切板、エンド側板、棚板、耐熱・耐汚棚)に穴加工が必要です。(施工手順詳細: **施工手順 P8**)

樹脂金具について

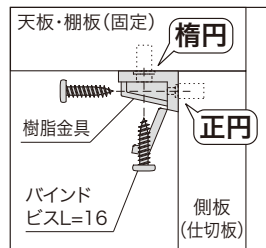
樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。

樹脂金具 (正円) ➡ ダボ穴/側板・仕切板
樹脂金具 (楕円) ➡ 下穴/天板・各棚板(固定)

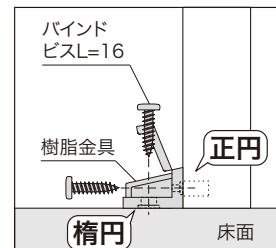
ご注意

バインドビスの締め過ぎにご注意ください。
ビスが空回りすると、保持力がなくなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。

天板・棚板(固定)



床面への固定



躯体準備

寸法単位:mm

- 施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
- 躯体の垂直・直角、床面の水平が取れていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。
- 床面にバインドビスL=16で固定するため12mm厚以上のフローリングなどを用いて施工を行なってください。
- 本製品は以下の場所に下地補強が必要です。それぞれビス取り付け位置に補強桱木や12mm厚以上の合板(現場調達)を設置してください。

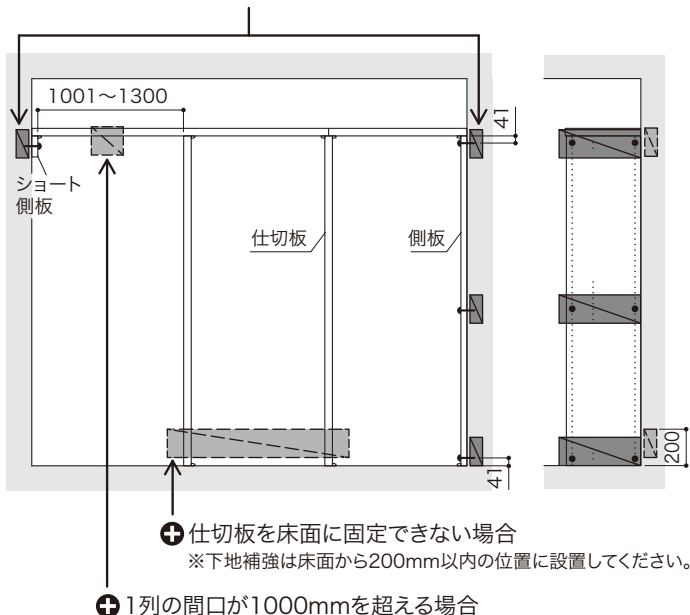
■:基本の下地補強位置 / ■:設置場所・プランニングにより必要な下地補強位置

ご注意

本体は必ず壁面・床面、または下地補強済みの躯体に固定してください。壁面の下地処理が不十分だと転倒・脱落の原因となります。

両側壁納め

側板・ショート側板のビス固定位置

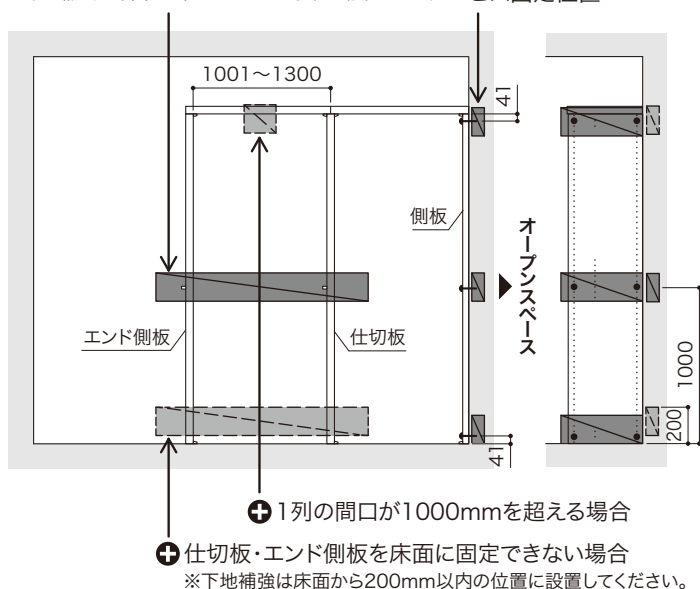


片側オープン

仕切板・エンド側板の樹脂金具固定位置

※下地補強は床面から約1000mmの位置に設置します。

側板・ショート側板のビス固定位置

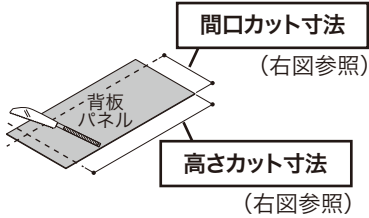


※図は説明のため、側板・ショート側板・エンド側板・仕切板・天板のみを表示しています。 ※図の寸法は高さ方向のカットがない場合の数値です。

1 背板パネルの取り付け(背板パネルを取り付ける場合のみ)

1 背板パネルの加工

右図を参考に設置位置を確認して背板パネルをカットしてください。
また、コンセントなどをかわす場合は背板パネルに穴加工を行ってください。



2 取り付け位置の墨出し

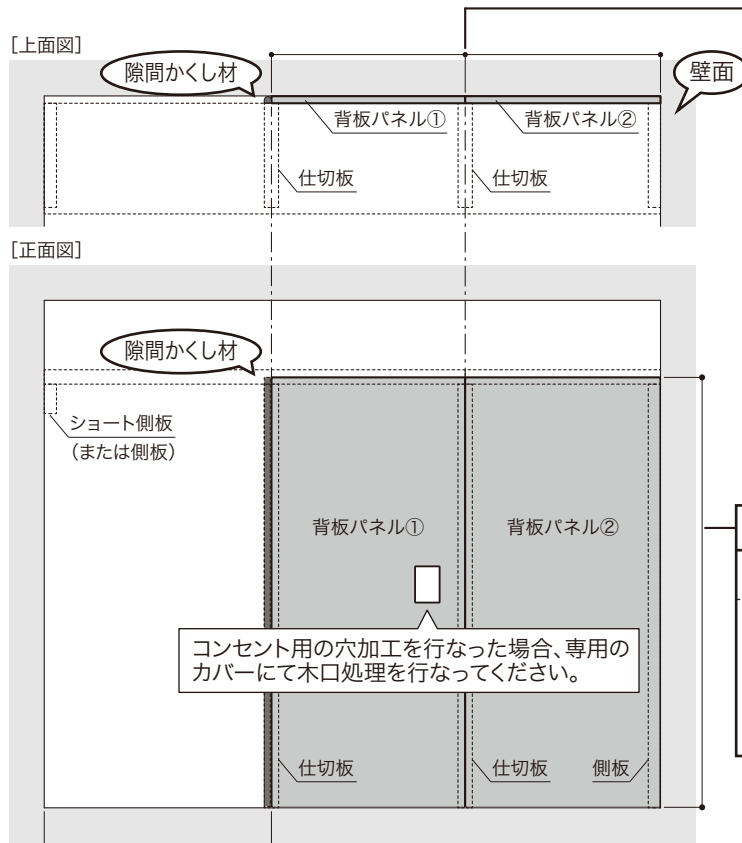
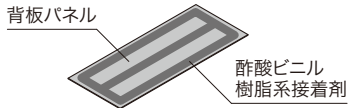
右図を参考に背板パネルの取り付け位置を墨出しします。

3 背板パネルの貼り付け

酢酸ビニル樹脂系接着剤+フィニッシュネイルまたは隠し釘(現場調達)で壁面へ背板パネルを固定してください。

ご注意

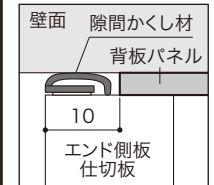
背板パネルを取り付ける場合は、クロスを貼らずに石膏ボード仕上げの上に取り付けてください。



1列の間口が885mm以上の場合、背板パネルの取り付けはできません。
※背板パネルの木口が見える場合は隙間かくし材で納めます。

間口カット寸法

- ・背板パネル同士の継ぎ目は仕切板の後ろで納めてください。
- ・隙間かくし材が必要な箇所は、下図を参考に背板パネルを10mm短くカットしてください。



高さカット寸法

- 側板高さ寸法+10
- ※巾木が取り付け(ある)場合
側板高さ寸法+10-巾木高さ
巾木の上面から背板パネルを取り付けてください。

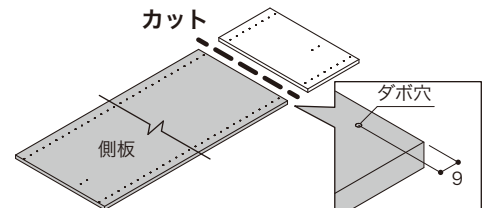
2 各側板の取り付け 側板・ショート側板は壁側、エンド側板はオープン側に取り付けてください。

カットする場合(側板・エンド側板のみ)

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。

ご注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。
反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



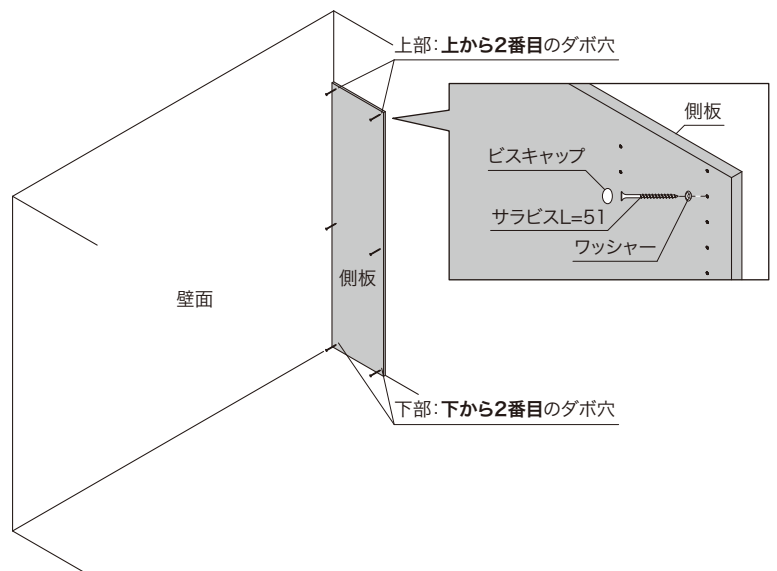
側板

側板を躯体にサラビスL=51(ビスキャップ付)で固定してください。

ビス固定位置:前後2箇所×上部・中央部・下部

ご注意

- サラビスL=51を取り付けるダボ穴は
上部:上から2番目、下部:下から2番目、
中央部:他の部材の固定などに使用しないダボ穴
を選んでください。
- 必ず下地のある位置で固定してください。



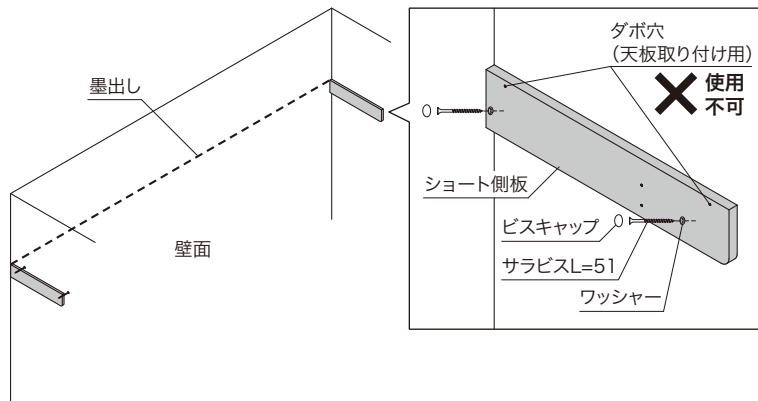
ショート側板

左右が水平になるように取り付け位置を墨出しし、ショート側板を躯体にサラビスL=51 (ビスキャップ付) で固定してください。

ビス固定位置:前後2箇所

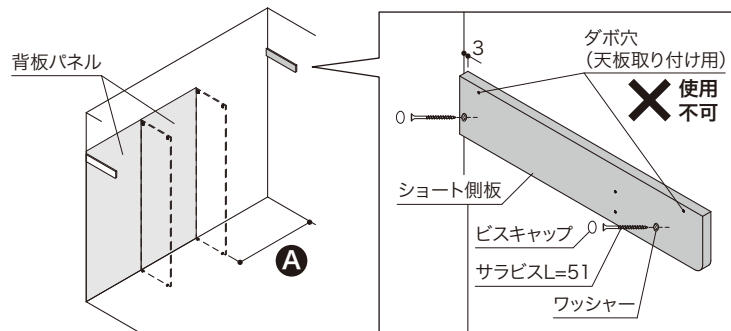
ご注意

- ショート側板にはサラビスL=51取り付け用のダボ穴がありません。**天板取り付け用のダボ穴(右図参照)を使用しないようご注意ください。**
- 必ず下地のある位置で固定してください。



ご注意

背板パネルを含むプランの場合、背板パネルを取り付けない列(右図 **A**)は背壁から3mm 間隔をあけて取り付けてください。



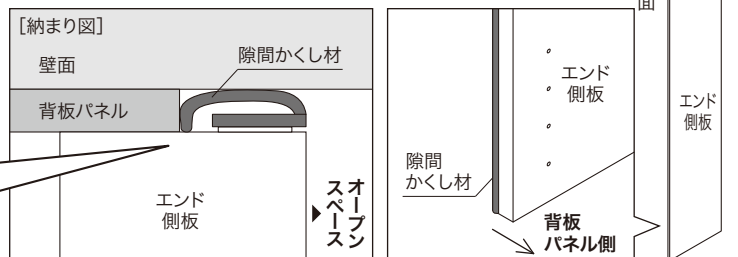
エンド側板

1 隙間かくし材の貼り付け(背板パネルを設置する場合 ※オープンスペースを設ける場合のみ)

エンド側板の長さに合わせて隙間かくし材をカットした後、両面テープを剥がしてオープンスペースへ設置するエンド側板の指定位置へ貼り付けます。

ご注意

隙間かくし材には貼り付け向きがあります。右図を参考に貼り付けてください。



2 エンド側板の取り付け

エンド側板の取り付け位置を墨出しし、背壁面・床面を壁面に樹脂金具を使って固定してください。エンド側板は、**片面のみの固定**となります。同梱されているエッジテープは天板の木口部分に貼ってください。

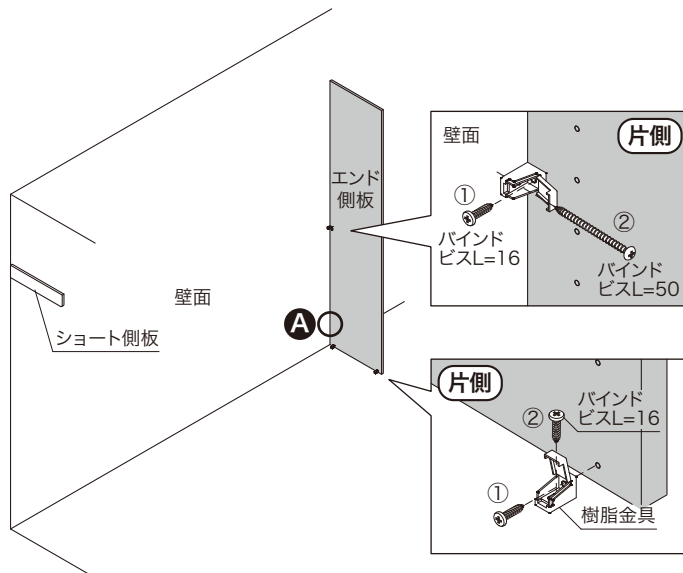
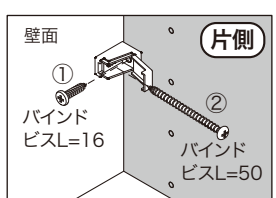
樹脂金具取付位置:中央部 1箇所(ダボ穴なし)/下部 前後2箇所

ご注意

- 壁面は必ず下地のある位置で固定してください。
- 壁面への固定はバインドビスL=50を使用してください。

床面にビス打ちできない場合

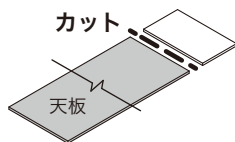
床面から200mm以内の下地補強のある位置に樹脂金具でエンド側板を固定してください。(右図 **A**)



3 天板の取り付け

カットする場合

設置位置の寸法に
カットしてください。



ご注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

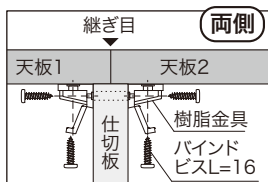


天板を側板上部両端にあるダボ穴に樹脂金具を使って固定してください。

樹脂金具固定位置: 前後2箇所

天板を連結する場合

2枚目の天板を図のように仕切板上部
で連結し、両側を樹脂金具で固定して
ください。

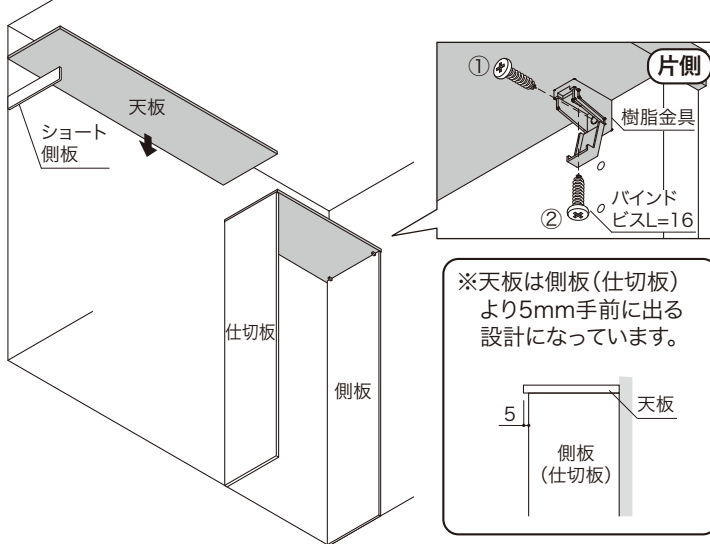
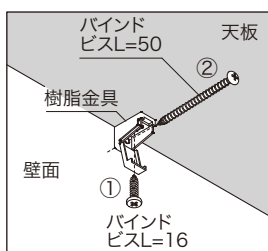


1列の間口が1000mmを超える場合

天板下面に間柱もしくは補強桟木のある
壁面に樹脂金具で固定してください。

ご注意

- 壁面は必ず下地のある位置で固定してください。
- 壁面への固定はバインドビス L=50を使用してください。

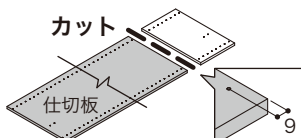


※天板は側板(仕切板)
より5mm手前に入る
設計になっています。

4 仕切板の取り付け

カットする場合

墨出し前にダボ穴の
中心から9mmの位置
でカットしてください。



ご注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

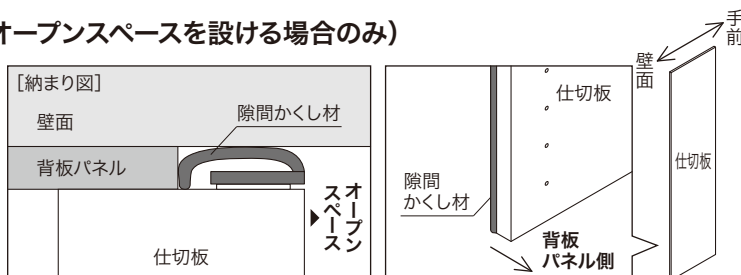


1 隙間かくし材の貼り付け(背板パネルを設置する場合 ※オープンスペースを設ける場合のみ)

仕切板の長さに合わせて隙間かくし材をカットした後、両面テープを
剥がしてオープンスペースへ設置する仕切板の指定位置へ貼り付けます。

ご注意

隙間かくし材には貼り付け向きが
あります。右図を参考に貼り付けて
ください。



2 仕切板の取り付け

仕切板の取り付け位置を列の間口寸法にあわせて墨出しし、天板と壁面に
樹脂金具を使って固定してください。仕切板は、片面のみの固定となります。

樹脂金具取付位置: 前後2箇所×上部・下部 /

片側オープン の場合、中央部 1箇所 (ダボ穴なし)

ご注意

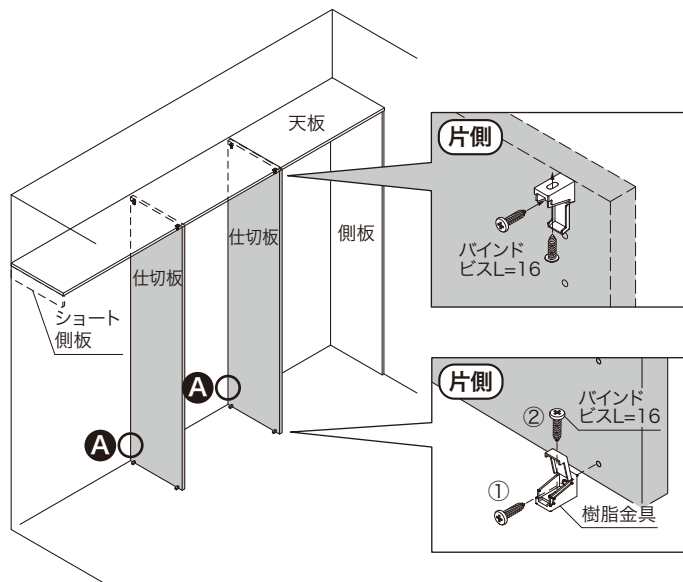
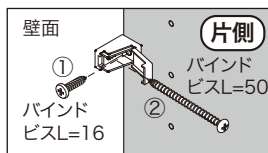
- 壁面は必ず下地のある位置で固定してください。
- 壁面への固定はバインドビス L=50を使用してください。

片側オープン の場合

床面から約1000mmの下地補強のある位置
に樹脂金具で仕切板を固定してください。

床面にビス打ちできない場合

床面から200mm以内の下地補強のある位置に樹脂金具で仕切板
を固定してください。(右図 A)



5 配線孔キャップの取り付け(配線孔キャップを取り付ける場合のみ)

1 エンド側板、仕切板、棚板、耐熱・耐汚棚 下穴加工

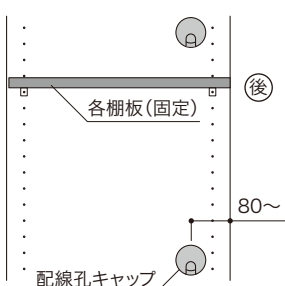
エンド側板、仕切板、棚板、耐熱・耐汚棚の端から80mm以上開けた位置にφ48.5mmの下穴を開けてください。
(取り付け位置詳細は右図参照)

エンド側板・仕切板に取り付ける場合

- 棚板などのパーツに干渉しない位置に取り付けてください。
- 配線孔キャップを2個以上取り付ける場合、間に各棚板(固定)またはスライドテーブルを設置してください。

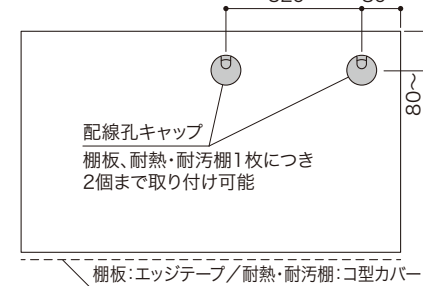
■ エンド側板、仕切板

[側面図]



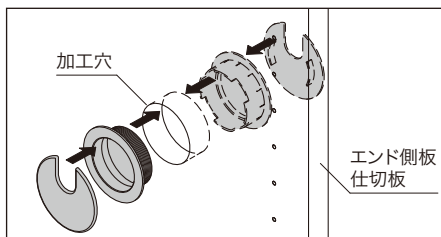
■ 棚板、耐熱・耐汚棚

[上面図]



2 配線孔キャップの取り付け

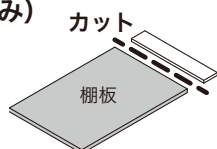
配線孔キャップをエンド側板、仕切板、棚板、耐熱・耐汚棚の両側から挟み込み、取り付けます。



6 各棚板(固定)の取り付け

カットする場合(棚板のみ)

間口調整が必要な箇所に
取り付ける棚板をカットし
ます。



ご注意

- 必ずエッジテープ側からカットしてください。
反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。
- 網棚はカットできません。

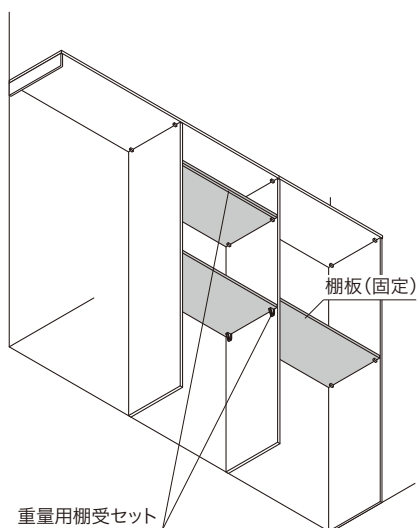


樹脂金具の正円側をバインドビスL=16で各側板・仕切板へ取り付けてください。その後、指定のビスで各棚板を固定してください。

ご注意

- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

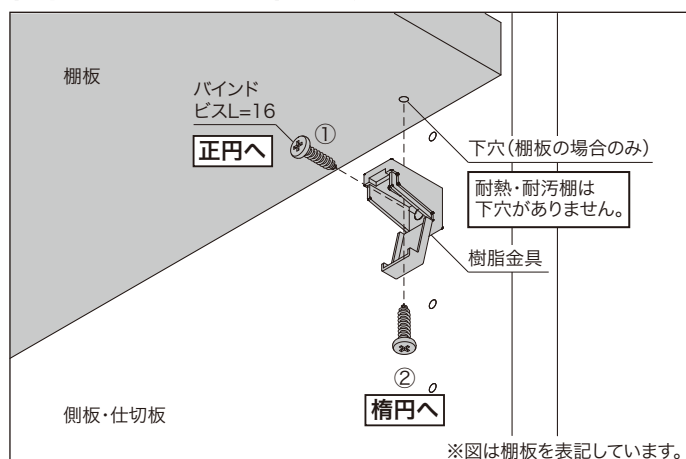
樹脂金具固定位置・・・前後2箇所×左右



重量用棚受セットは棚板、耐熱・耐汚棚に取り付けることができます。
重量用棚受で固定する場合、樹脂金具は使用しません。

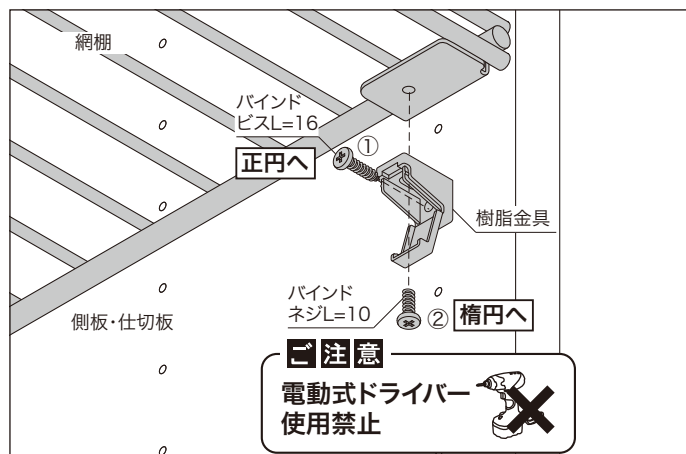
施工手順詳細: **施工手順 P9**

棚板、耐熱・耐汚棚の場合



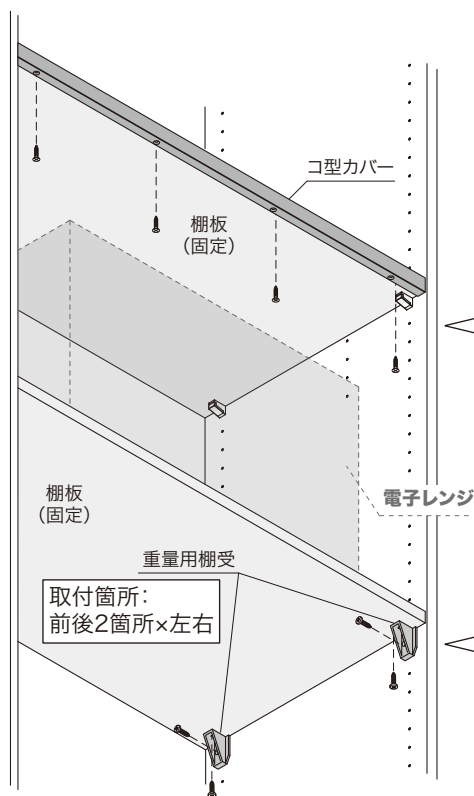
※図は棚板を表記しています。

網棚の場合



棚板(固定)または耐熱・耐汚棚(固定) + 重量用棚受セット

電子レンジを設置する場合は、棚板(固定)または耐熱・耐汚棚(固定)に重量用棚受セットを取り付けてください。



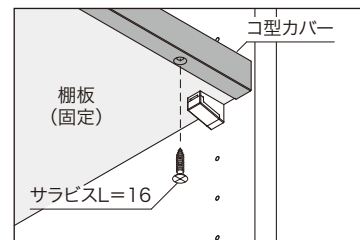
コ型カバーの取り付け ※

重量用棚受を取り付けた棚板または耐熱・耐汚棚の上側の棚板(固定)へコ型カバーをサラビスL=16で取り付けてください。

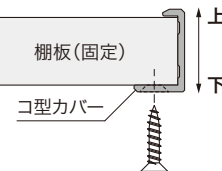
※耐熱・耐汚棚が取り付けの場合は、コ型カバーは不要です。

注意

コ型カバーの両端は切りっぱなしのため、挿入の際は側板・仕切板を傷つけないよう、ご注意ください。



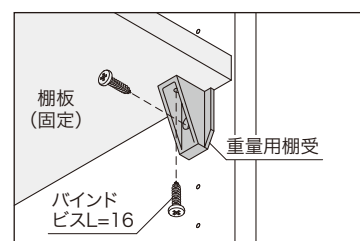
[側面図]



重量用棚受の取り付け

重量用棚受のピンをダボ穴(2個)へ差し込み、バインドビスL=16で固定してください。

※棚板の下穴は、樹脂金具取り付け用です。重量用棚受の固定では使用しません。

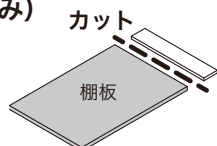


7 各棚板(可動)の取り付け

躯体や側板・仕切板と背壁桟木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。

カットする場合(棚板のみ)

間口調整が必要な箇所に取付ける棚板をカットします。

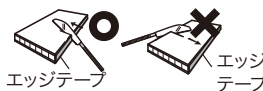


注意

●必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

●網棚はカットできません。



可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込み、各棚板をのせてください。

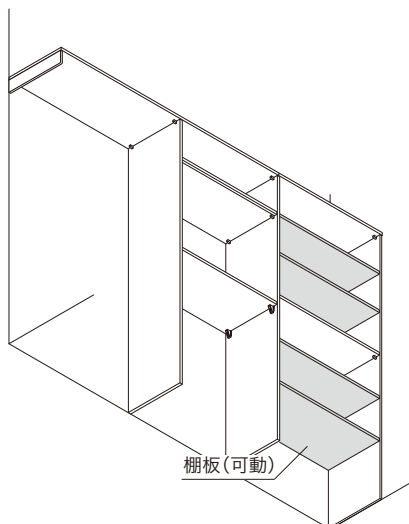
※可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

注意

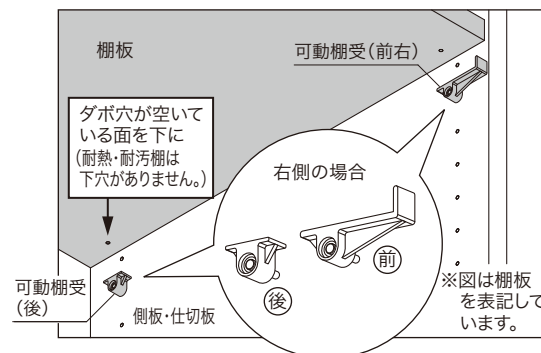
●網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。

●使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

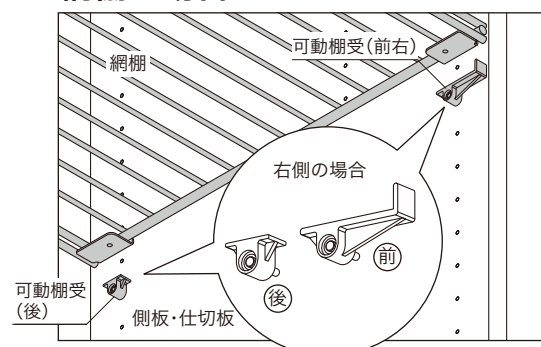
可動棚受取付位置・・・前後2箇所×左右



棚板、耐熱・耐汚棚の場合



網棚の場合



8 バスケットの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ P13**

ご注意

バスケットの上には必ず各棚板(固定)、スライドテーブルのいずれかを取り付けてください。
複数設置する場合は、最上段のみです。

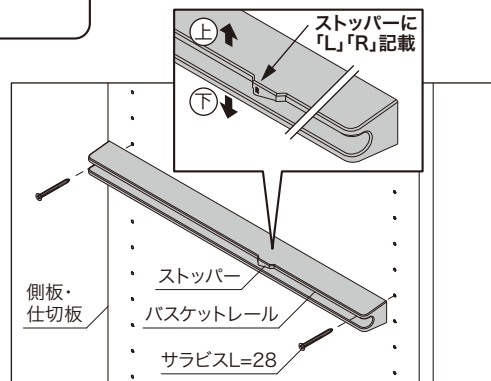
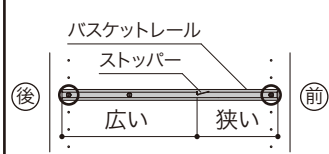
1 バスケットレールの取り付け

側板・仕切板へサラビスL=28を使って図のように固定してください。
レールの上下間隔は、ダボ穴5個以上あけて設置してください。

ご注意

- バスケットレールには左用・右用があります。間違いのないように注意してください。
- ビスを強く締めすぎないようにしてください。バスケットレールが破損するおそれがあります。

ビス固定位置: 前後2箇所

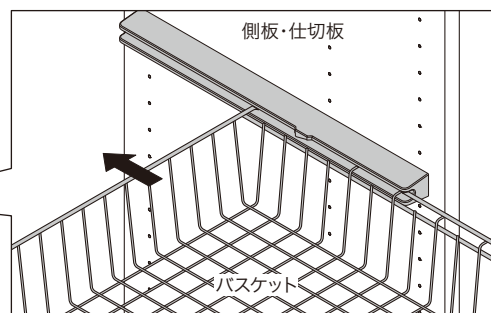
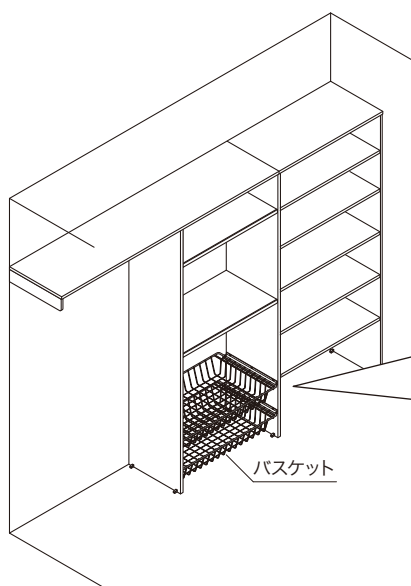
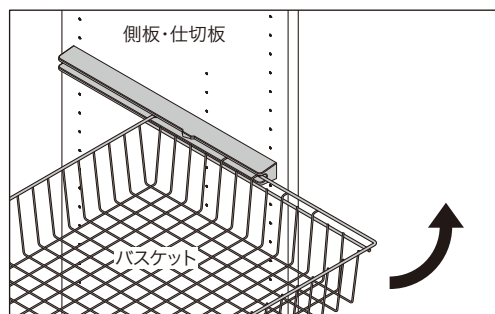


2 バスケットの差し込み

バスケットレールにバスケットを差し込んでください。

バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。



9 キッチン収納用引出しの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ P13,14**

ご注意

最上段の引出しの上には必ず各棚板(固定)またはスライドテーブルを取り付けてください。

1 スペース(左・右)の取り付け

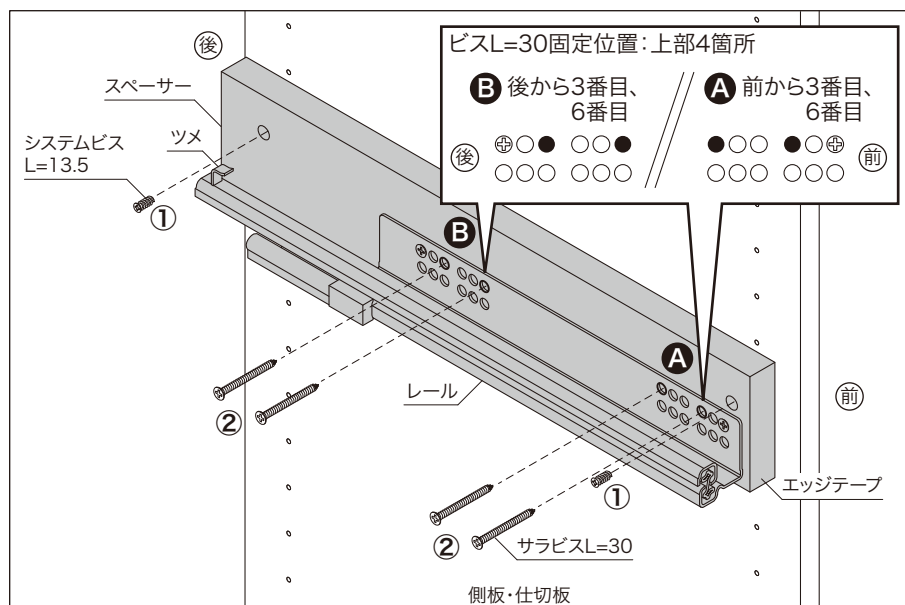
スペース(左・右)を側板・仕切板にシステムビスL=13.5で固定します。(右図 ①)

ビス固定位置: 2箇所

ご注意

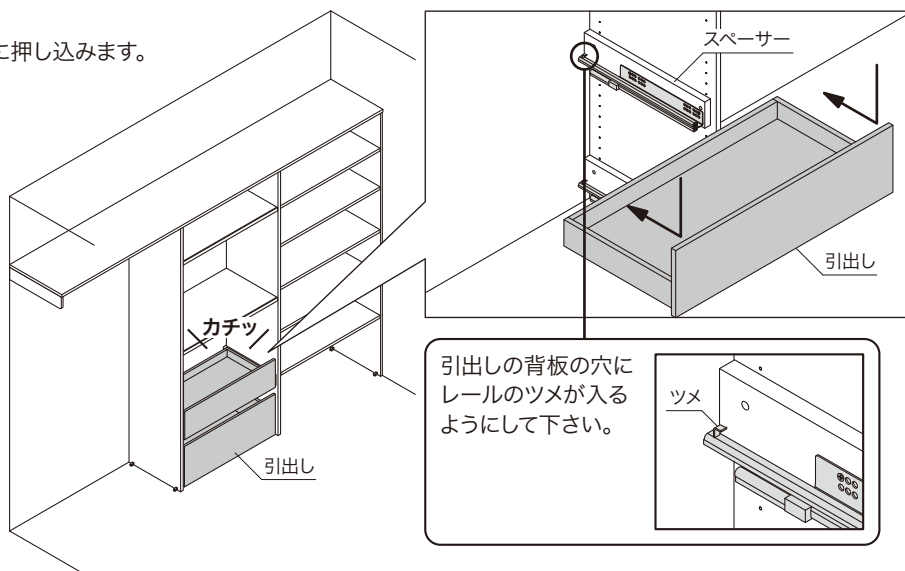
スペースは右用・左用があります。間違いのないように注意してください。エッジテープを貼っている面が手前になります。

その後、レールの指定穴位置(右図参照)からスペースと側板・仕切板に向かってサラビスL=30で固定します。(右図 ②)



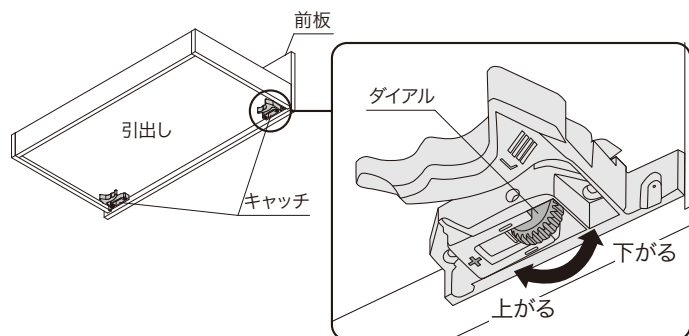
2 引出しの取り付け

レールの上に引出しをのせて、カチッと音がするまで奥に押し込みます。



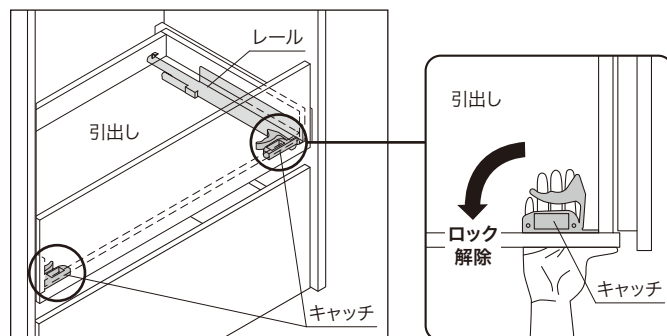
前板の高さ調整方法

引出しを軽く持ち上げながらダイヤルを+方向に回します。
(+2mm調整可能)



引出しの取り外し

引出しの裏に取り付いているキャッチ(左右)のレバーを矢印の方向に引いて、レールと引出しのロックを解除し、取り外してください。



10 スライドテーブルの取り付け

設置位置詳細: **設置位置イメージ** P13,14

1 スパーサーの取り付け

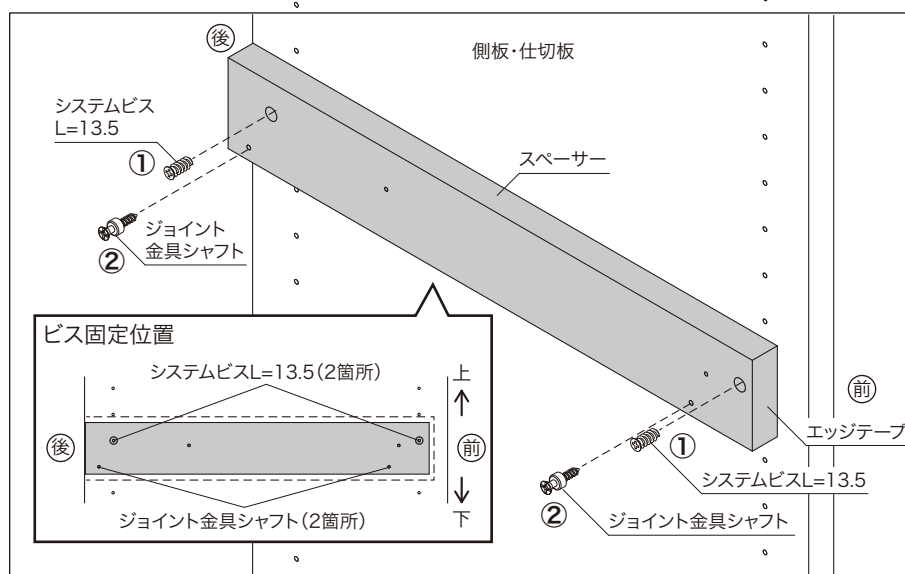
スパーサーを側板・仕切板へシステムビスL=13.5で貫通穴から固定します。(右図①)

ご注意

スパーサーは右用・左用があります。間違いのないように注意してください。エッジテープを貼っている面が手前になります。

2 ジョイント金具シャフトの取り付け

スパーサー下側の半貫通穴へジョイント金具シャフトを取り付けます。(右図②)



施工手順

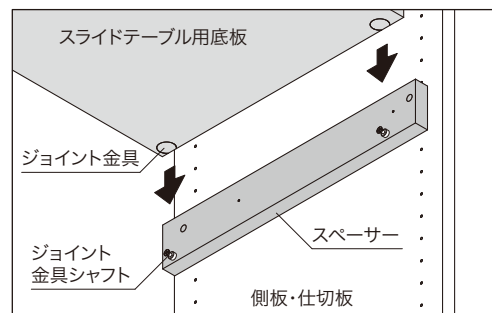
寸法単位:mm

3 スライドテーブル用底板の取り付け

その後、スライドテーブル用底板のジョイント金具をジョイント金具シャフトに上側からはめ込みます。

ご注意

ジョイント金具シャフトをはめ込む際は、スライドテーブル用底板のジョイント金具が**開いた状態**であることを確認してから取り付けてください。

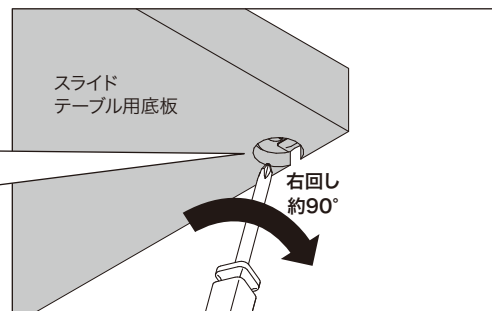
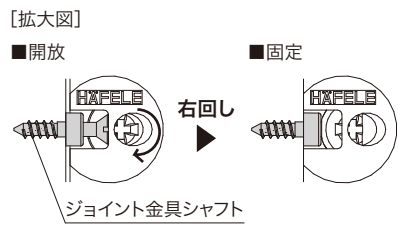


4 スライドテーブル用底板の固定

ジョイント金具をドライバー右回しで締め、固定してください。

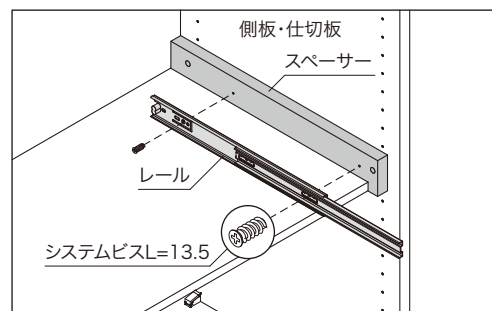
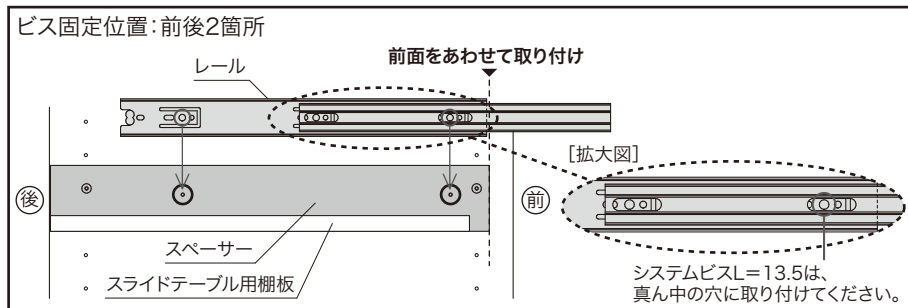
ご注意

ドライバーはななめに差し込んでください。ジョイント金具が破損するおそれがあります。



5 レールの取り付け

スペーサーの半貫通穴へレールを取り付けてください。

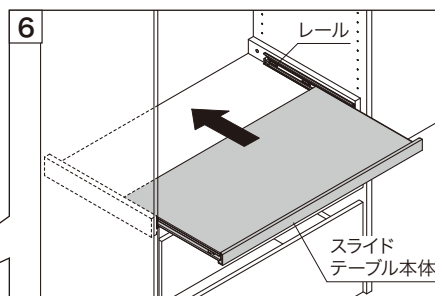
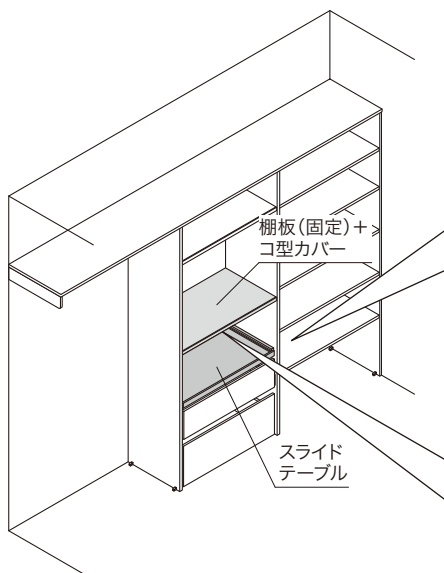


6 スライドテーブル本体の取り付け

レールを引き出してスライドテーブル本体を取り付けてください。

ご注意

スライドテーブルを無理に押し込まないでください。破損のおそれがあります。



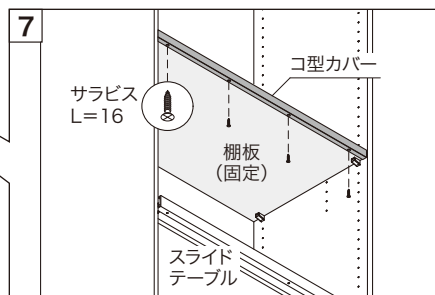
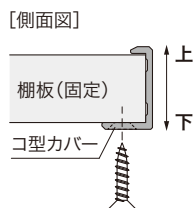
7 コ型カバーの取り付け ※

スライドテーブルの上側の棚板(固定)へコ型カバーをサラビスL=16で取り付けてください。

※耐熱・耐汚棚が取り付けの場合はコ型カバーは不要です。

ご注意

コ型カバーの両端は切りっぱなしのため、挿入の際は側板・仕切板を傷つけないよう、ご注意ください。



【オーダーメイドスライドドア グッドア】の施工について

収納扉は[グッドア]となります。施工の際は[グッドア]上下レール同梱の施工説明書をご覧ください。

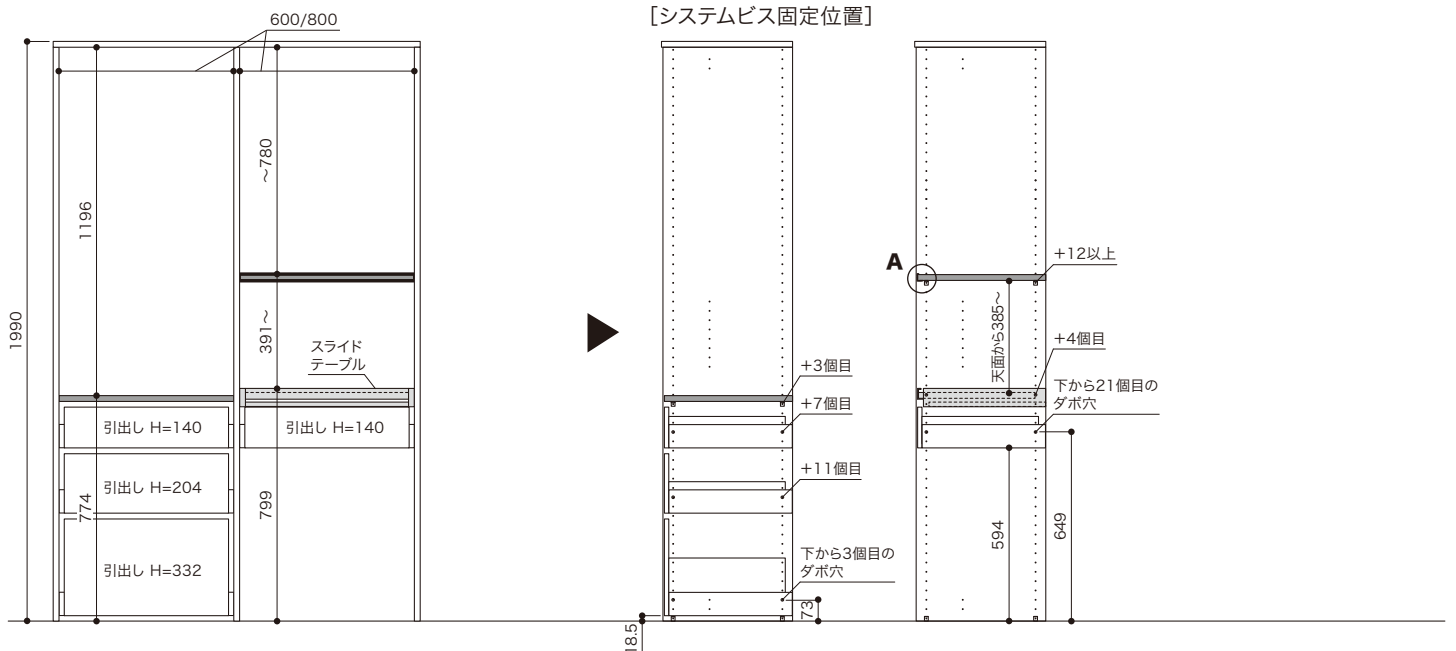
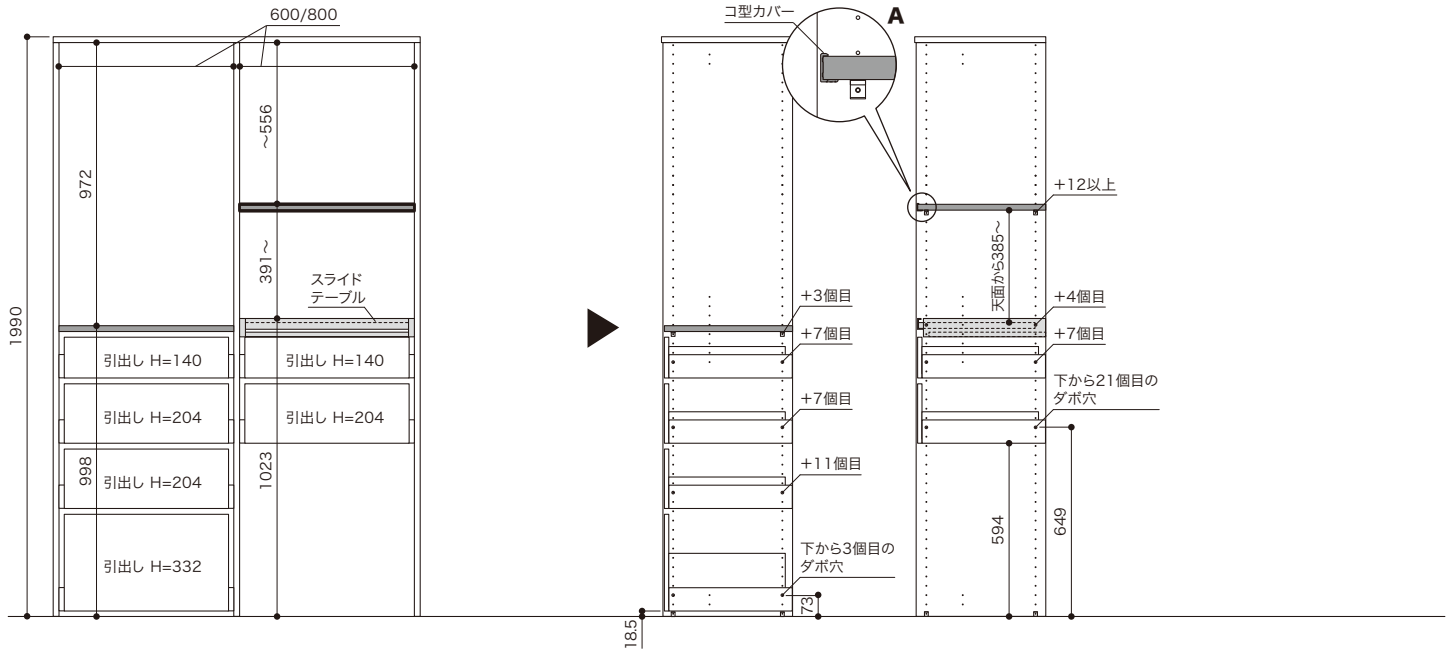
※グッドアは 引違戸 仕様になります。引違戸 2枚、3枚、4枚を参考に施工を行なってください。取り付け位置は別添の製品詳細図をご確認ください。

設置位置イメージ

寸法単位: mm

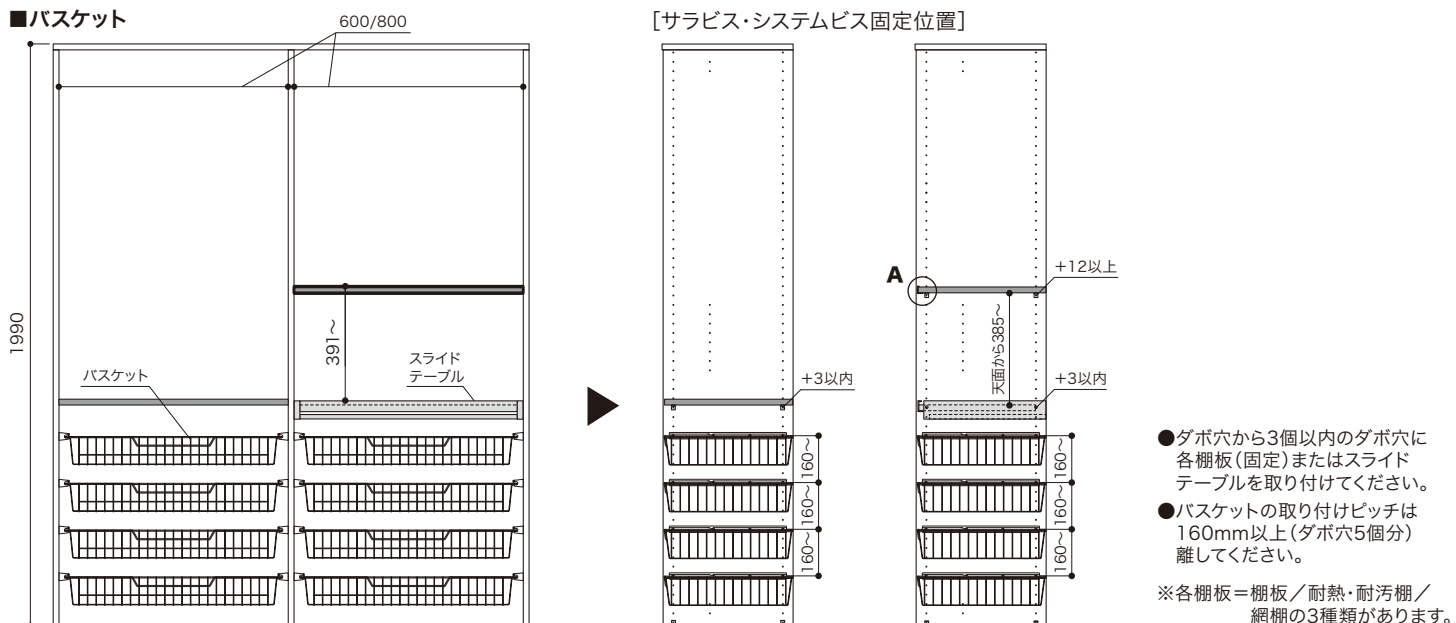
■ 引出し・スライドテーブル

[システムビス固定位置]



■ バスケット

[サラビス・システムビス固定位置]

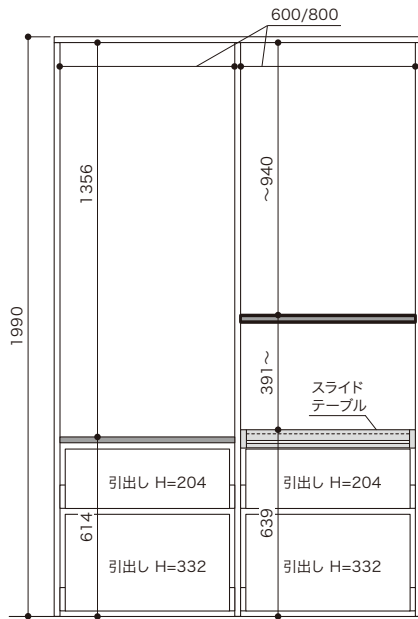


- ダボ穴から3個以内のダボ穴に各棚板(固定)またはスライドテーブルを取り付けてください。
- バスケットの取り付けピッチは160mm以上(ダボ穴5個分)離してください。

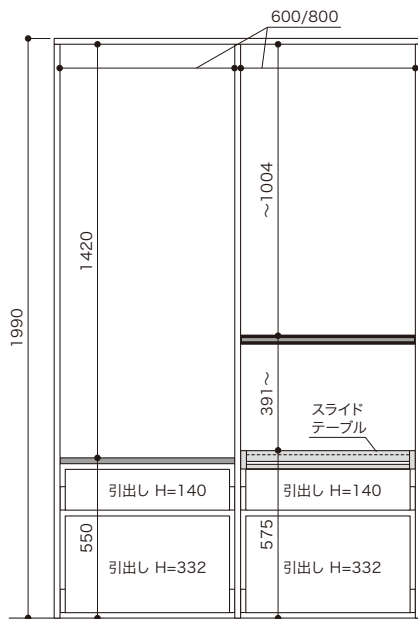
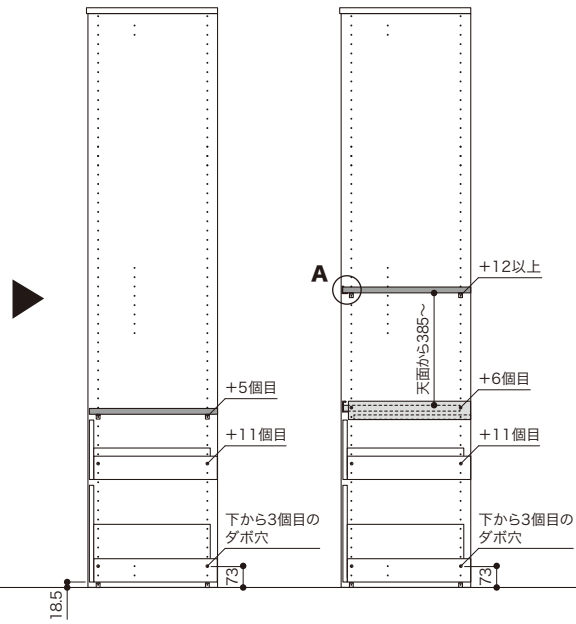
※各棚板=棚板/耐熱・耐汚棚/網棚の3種類があります。

設置位置イメージ

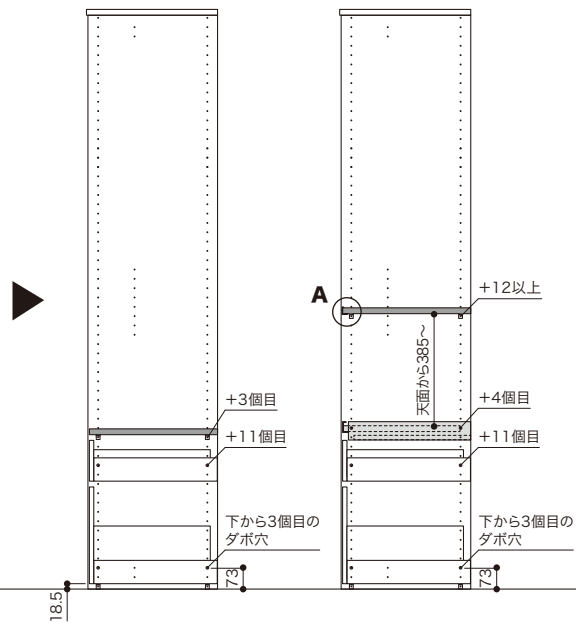
寸法単位:mm



[システムビス固定位置]



[システムビス固定位置]



[オーダーメイドスライドドア グッドア]の施工については
[グッドア]上下レール同梱の施工説明書をご覧ください。



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

製品名:キッチンパネル収納 フリモ

製造者名称:南海プライウッド(株)

発散区分:F☆☆☆☆

住宅部品表示ガイドラインによる

ロット番号:製品梱包に記載

-構成材料-

内装仕上部分		下地部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆	MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆	接着剤	F☆☆☆☆

部材・部位	材料名	表示区分	認定・ 登録種類	認定・ 登録番号	認定登録機関
耐熱・耐汚棚	金属調化粧ランバー	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002821	(一社)日本建材・住宅設備産業協会
スライドテーブル					

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先:品質管理チーム 087-894-8025

NANKAI 南海プライウッド株式会社

NANKAI PLYWOOD

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業
グループ 首都圏 第1チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645
首都圏 第2チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645

西日本営業
グループ 近畿営業チーム TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647
中四国営業チーム TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648
九州営業チーム TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649

東日本営業
グループ 北海道・東北営業チーム TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695
関東甲信越営業チーム TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645
中部営業チーム TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646

特需営業
グループ 特需 第1チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
特需 第2チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
特需 第3チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669

<https://www.nankaiplywood.co.jp/>